

シャワートイレアムゼット・RZシリーズ CW-RJ3型 CW-RJ2型 CW-RZ3型 CW-RZ2型 CW-RZ1型

安全のために守ってください!

シャワートイレを安全に取り付け、使用時の事故を回避するための注意事項をあげさせていただきます。施工前に、この項目をよくお読みいただき、事故のないように正しく取り付けてください。

用語の説明

- 警告** . . . 取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険な状態が生じることが想定されます。
- 注意** . . . 取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うか又は物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。

警告

- 修理技術者以外の人は、分解したり修理・改造は行わないでください。
感電・火災・ケガの原因になります。
- 本体や電源プラグに水や洗剤をかけないでください。
感電・火災の恐れがあります。
- アースを取り付けてください。
故障や漏電時に感電の原因になります。
コンセントにアース端子がない場合は、電気工事店にご相談ください。
- バスルームなど湿気の多い場所には設置しないでください。
感電・火災の原因となります。
- ガタついているコンセントは使用しないでください。
感電・火災の原因となります。
- 電源コードを傷つけたり、破損させたり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねたり、重いものを載せたり、挟み込んだりしないでください。
電源コードが破損し、感電・火災の原因になります。
- 上水道以外に接続しないでください。
機械内部の腐食により感電・火災および皮膚の炎症の原因になります。
- ぬれた手で、電源プラグを抜き差ししないでください。
感電の原因になります。
- 交流100V以外では使用しないでください。
タコ足配線など定格をこえる使い方をしないでください。
火災の原因になります。
- 電源プラグをコンセントに差し込むときは、根元まで十分差し込んでください。
感電・火災の原因になります。

注意

- ストレーナーを外すときは、必ず止水栓を閉めてください。
ストレーナーを取り付ける際は、すき間がないようにしっかり締めてください。
漏水し、室内浸水の原因になります。
- 止水栓の調節と施工後の漏水点検を必ず行ってください。
漏水し、室内浸水の原因になります。
- お客さまにお渡しするまでに凍結が予想される場合は水を抜いておいてください。
凍結破損で漏水し、室内浸水の原因になります。

電源と給水の確認

電源コンセントは?

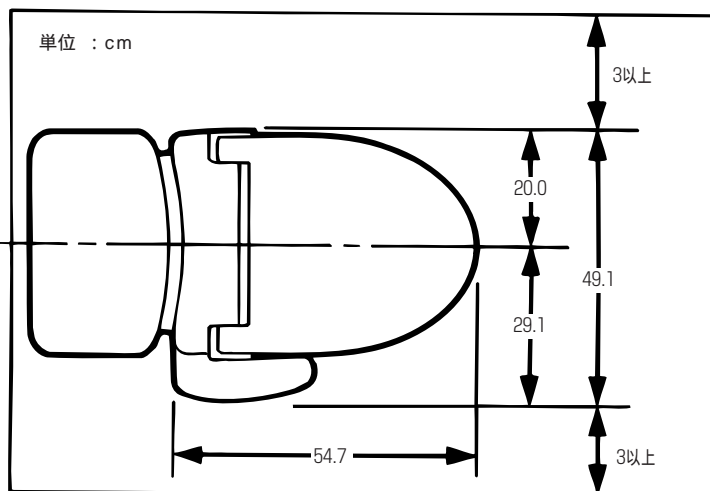
コンセントはAC100V、最大定格317Wに適しているものを使用してください。
電源コードの長さは1.0mです。
コンセントは電源コードの届く範囲で、床面より高く水のかからない位置に設置してください。
必ずアース工事（D種接地工事）を行ってください。
アースターミナル付コンセント（フラット型）が便利です。
コンセントを新しく設置したり、変更する場合は上記の点に注意して、必ず電気工事店にご相談ください。
施工が完了するまで、電源プラグをコンセントに差し込まないでください。故障する恐れがあります。

使用する水は?

給水は必ず上水道に接続してください。
中水道や工業用水、井戸水などを使用すると電気部品や機械部品の耐久性が低下して、事故の原因となります。
給水圧力は0.06MPa {0.6kgf/cm²} ~ 0.74MPa {7.5kgf/cm²} でご使用ください。
上記範囲外の場合は、お求めの取扱店にご相談ください。
給水は便器の止水栓から取ってください。
フラッシュバルブ式便器へ取り付ける場合や給水を別に取り出す場合、便器の止水栓が中水道に接続している場合などは、お求めの取扱店にご相談ください。

トイレ室内の確認

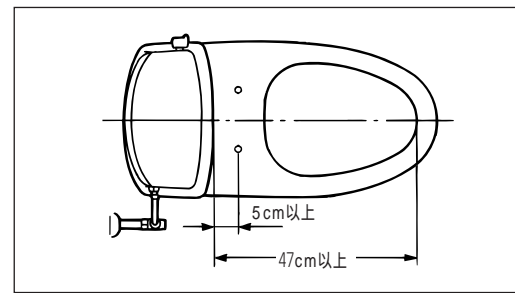
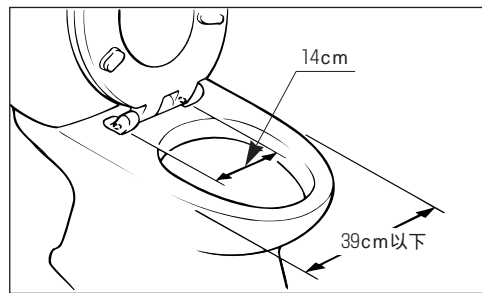
シャワートイレを便器に取り付けると下図のようになります。
トイレ室内に十分なスペースがあることと、障害物がないことを確認してください。



便器の確認

1. 便器の大きさを測ってください。

下図の寸法以外の便器では、シャワートイレが取り付けられない場合があります。下図に示す寸法を確かめてください。

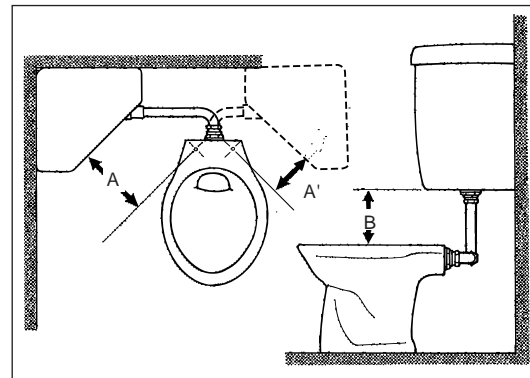


2. 隅付タンク式便器は、1 か2 (3 か4) のどちらかを満足していますか?

隅付タンク式の場合、右図のA(A')・B寸法が1 か2 (3 か4) のどちらかの条件を満たしていれば取付可能です。

- 1 A : 22cm以上
- 2 A : 13cm以上 かつ B : 17cm以上
- 3 A' : 17cm以上
- 4 A' : 13cm以上 かつ B : 17cm以上

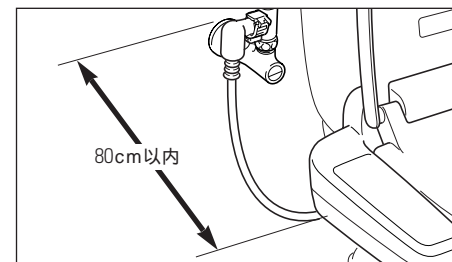
1と2 (3と4) の両方も満たさない場合は、タンクの位置を上げる等の処置をお願いいたします。
(お求めの取扱店にご相談ください。)



3. 本体給水ホース (同梱) の使用可能な条件

同梱の本体給水ホースは95cmですが、分岐金具から本体の給水ソケットまでの距離は80cm以内が適切です。(右図参照)

80cm以上の距離がある場合は、別売の本体給水ホースCWA-27 (1.35m) またはCWA-28 (2m) を手配してください。



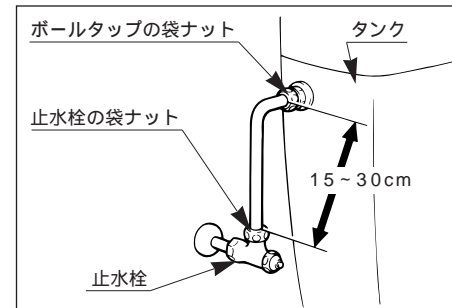
4. タンク給水ホース (同梱) の使用可能な条件

止水栓とタンクの間の距離によって使用できない場合があります。

右図の距離が15cm ~ 30cmの場合：タンク給水ホースが使用できます。

右図の距離が15cm ~ 30cm以外の場合：タンク給水ホースが使用できません。

既存のサプライ管を切断するか、長い場合は市販の蛇腹管をご使用ください。裏面の【補足1】をご覧ください。

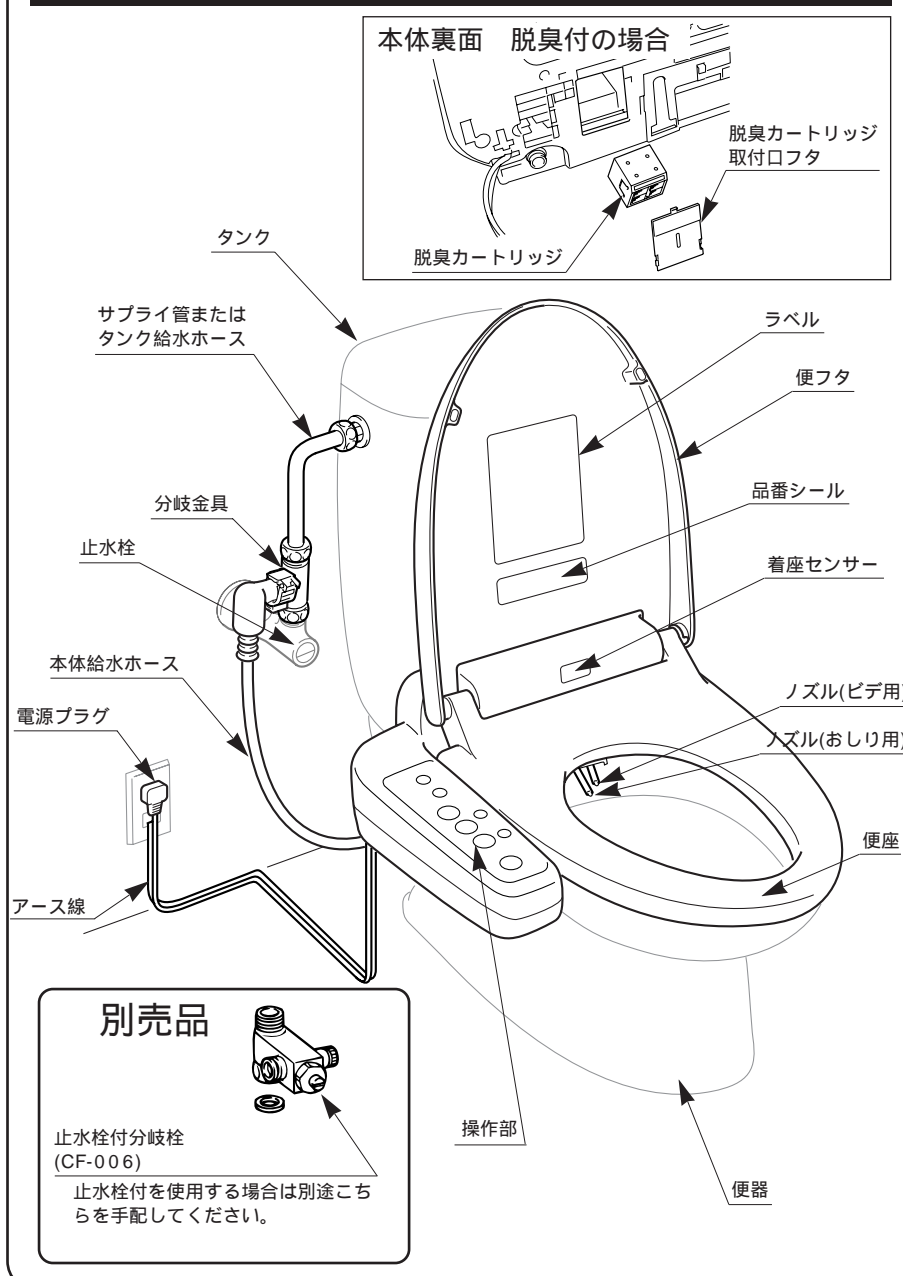


部品の確認 (梱包内容を確認してください。)



- 1: 本体取付ボルトから角パッキンを外さないでください。
- 2: 既存のサプライ管を切断した場合に使用します。
- 3: TOTO社製便器、またはINAX製ストレーナー付便器に使用します。詳しくは同梱の説明書をご覧ください。
- 4: この施工説明書とともに施工ビデオをご覧になり、正しく本商品をお取り付けください。
- 5: 形状が異なる場合があります。

各部のなまえ



このたびは当社商品をお買い求めいただき、誠にありがとうございました。

お客さまへ

本説明書以外の取付方法で、お取り付けされた際の故障・不具合につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。また、商品または商品の取付けに関するご相談は、お買求めの取扱店にご相談ください。なお、※NAXメンテナンスでも商品の取り付けを承っておりますが、その場合は別途料金が必要となります。

施工業者さまへ

お客さまに必ず本書と取扱説明書や保証書をお渡しください。お渡しするときは、使用方法をご説明ください。

注意

この施工説明書をよく読み、正しく本商品をお取り付けください。
施工後は必ず試運転を行ってください。

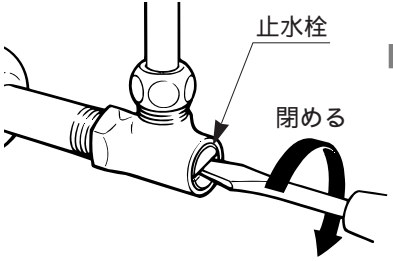
1 分岐金具の取付け

注意1参照

1. 止水栓を閉めます。

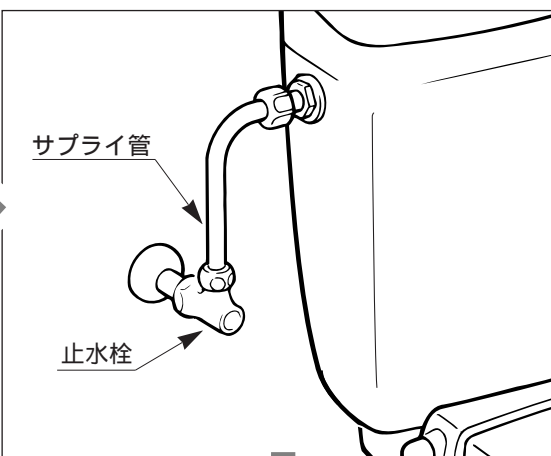
便器の止水栓を-ドライバー等でいっばいに閉め、給水を止めます。

止水栓は調整されているので、元の位置(どのくらい回したか)を覚えておいてください。



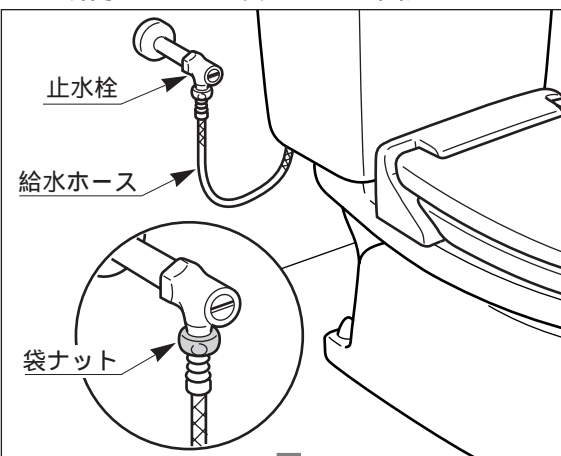
2. 給水の確認を行います。止水栓と便器(タンク)の接続方式を確認してください。給水方式によって分岐金具の取付け方法が異なります。

止水栓と便器(タンク)がサプライ管で接続されている場合

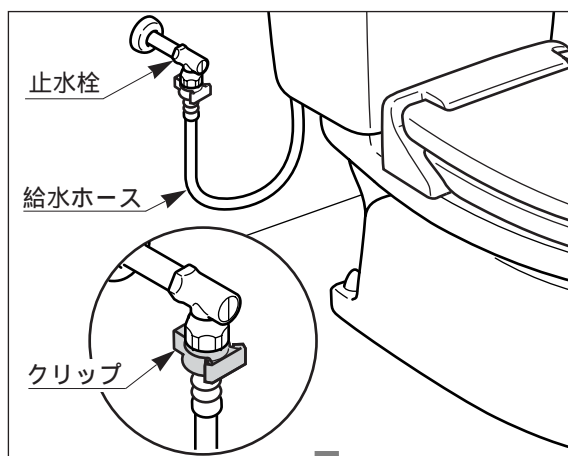


止水栓と便器(タンク)が給水ホースで接続されている場合

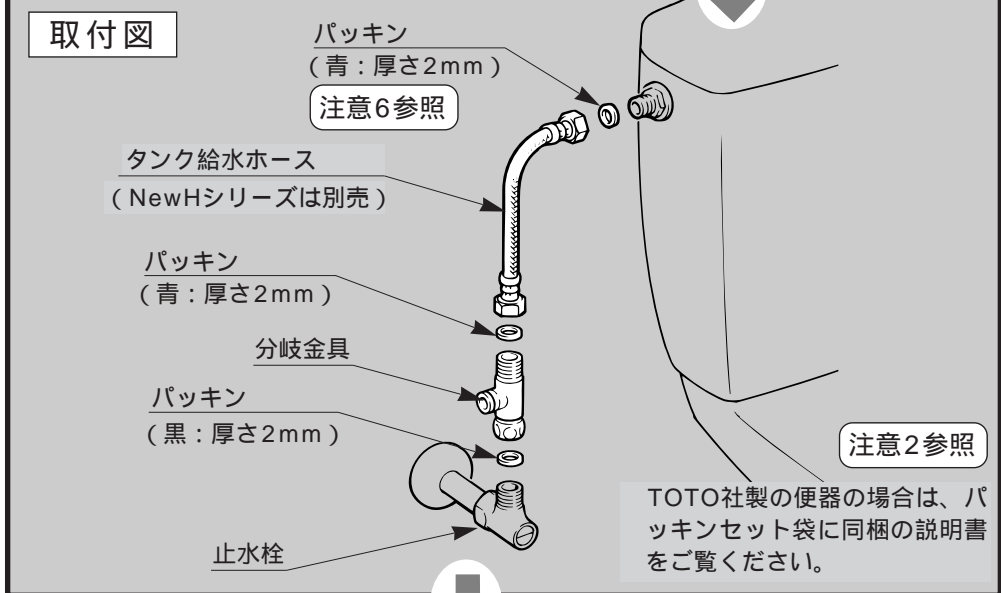
給水ホースを袋ナットで固定



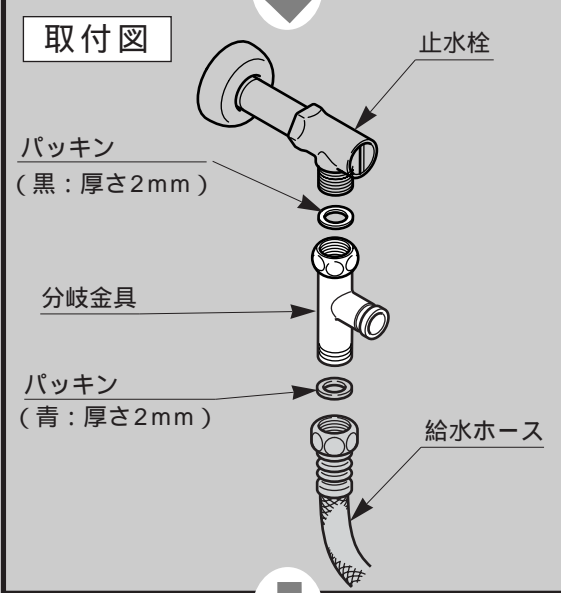
給水ホースをクリップで固定



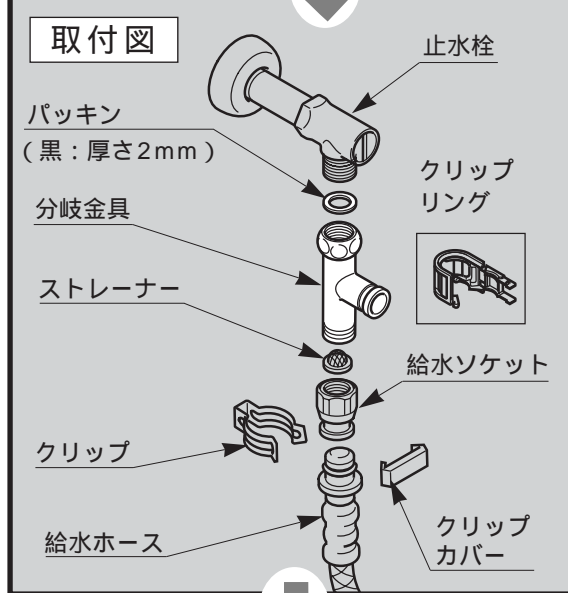
取付図



取付図

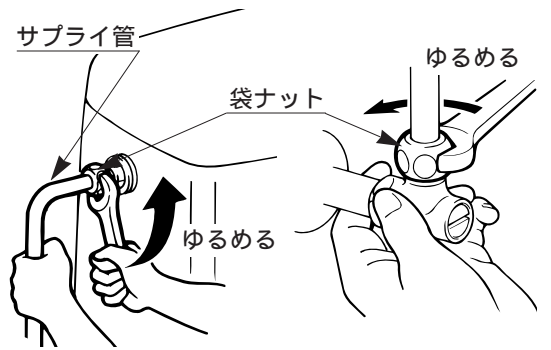


取付図



3. サプライ管を外します。

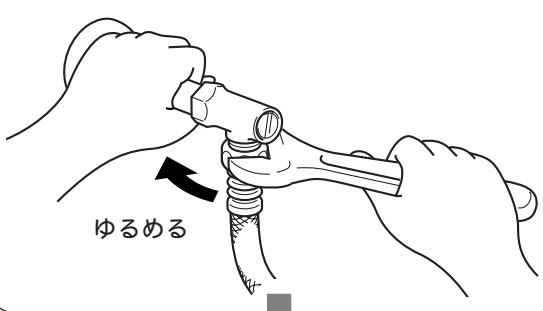
(1) タンク側と止水栓側の袋ナットをゆるめてサプライ管を外します。このとき、少量の水がこぼれますので、ぞうきんなどを下に置いてください。



注意3参照

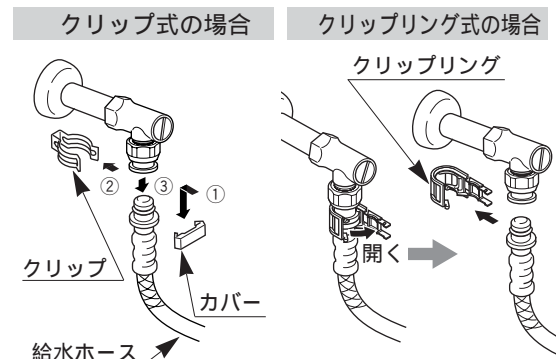
3. 給水ホースを外します。

(1) 止水栓側の袋ナットをゆるめます。このとき、少量の水がこぼれますので、ぞうきんなどを下に置いてください。



3. 給水ホースと給水ソケットを外します。

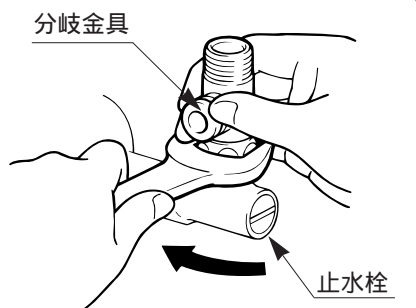
(1) 止水栓からクリップを外してホースを抜きます。このとき、少量の水がこぼれますので、ぞうきんなどを下に置いてください。



4. 分岐金具を取り付けます。

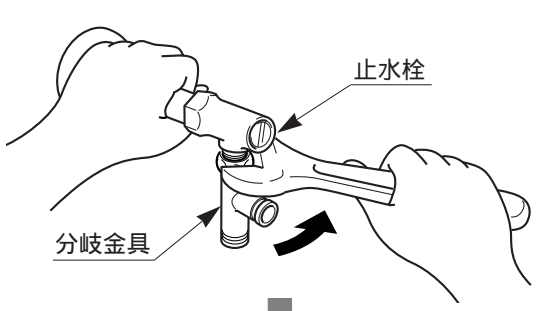
パッキン(黒:厚さ2mm)を入れて分岐金具を止水栓に取り付けます。(締付トルク10~15N・m {100~150kgf・cm})

サプライ管を切断してを取り付ける場合は、裏面の「補足1」をご覧ください。

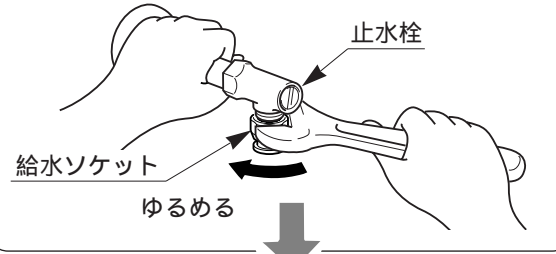


4. 分岐金具を取り付けます。

パッキン(黒:厚さ2mm)を入れて分岐金具を止水栓に取り付けます。(締付トルク10~15N・m {100~150kgf・cm})

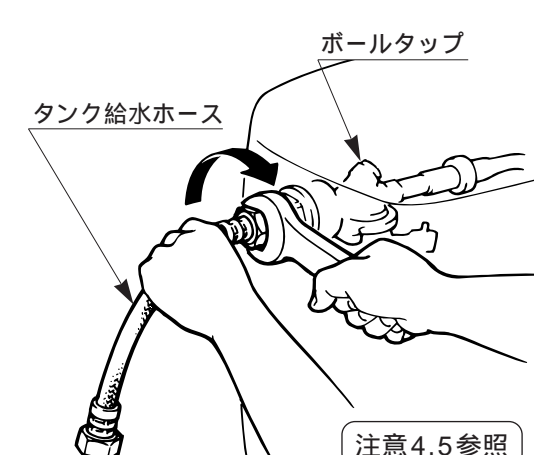


4. 分岐金具を取り付けます。(左記参照)



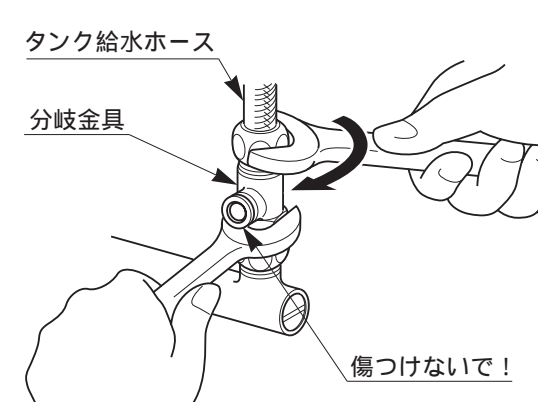
5. タンク給水ホース(同梱)を取り付けます。

(1) パッキン(青:厚さ2mm)を入れてタンク給水ホースをボールタップに取り付けます。タンク給水ホースがねじれないように手で軽く押えて袋ナットを締め付けてください。



注意4,5参照

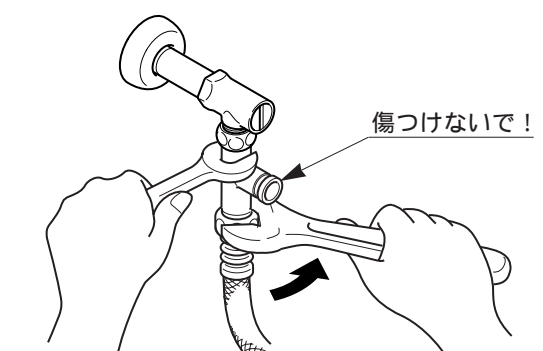
(2) パッキン(青:厚さ2mm)を入れてタンク給水ホースを分岐金具に取り付けます。



傷つけないで!

5. 給水ホースを取り付けます。

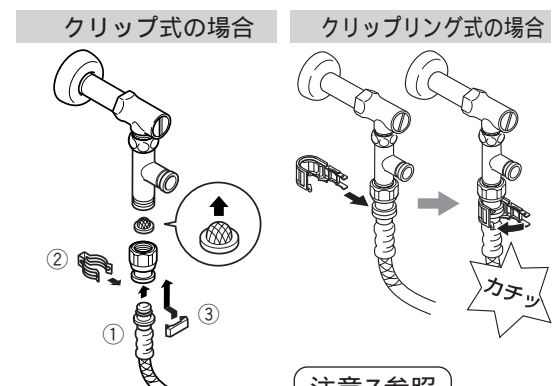
(1) パッキン(青:厚さ2mm)を入れてタンク給水ホースを分岐金具に取り付けます。
(2) 分岐金具の六角部にスパナーまたはモンキーを当て、分岐金具を固定し、タンク給水ホースの袋ナットをスパナー等でしっかり締め付けます。



給水ホースがねじれないように注意してください。

5. 給水ホースと給水ソケットを取り付けます。

(1) ストレーナーを入れて給水ソケットを分岐金具に取り付けます。(締付トルク10~15N・m {100~150kgf・cm})
(2) 給水ホースを給水ソケットに差し込み、クリップで固定します。



注意7参照

注意1

付属の分岐金具または別売のCF-006(止水栓付)を使用してください。上記以外の分岐金具では漏水の原因になります。

注意2

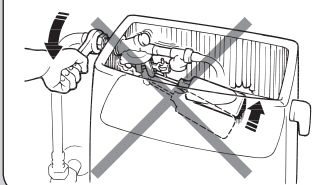
各製品の向きと順序を間違えないでください。間違えると漏水します。既存のサプライ管に割リングが付いていない場合は、タンク給水ホースをご使用ください。漏水の原因になります。

注意3

止水栓やサプライ管に無理な力をかけないでください。破損して漏水する恐れがあります。

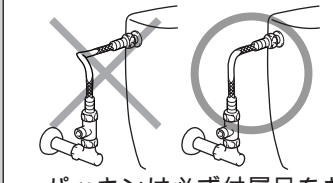
注意4

ボールタップが回転しないように固定しながら袋ナットを締めてください。ボールタップが回転すると浮玉がタンク側壁と干渉して止水不良の原因になります。



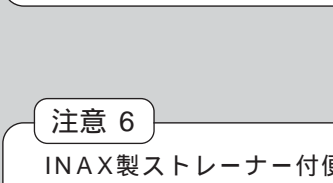
注意5

タンク給水ホースは鋭角に曲げないでください。破損して漏水する恐れがあります。



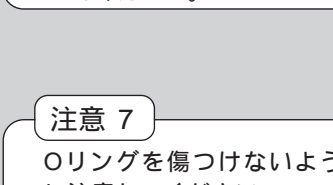
注意6

パッキンは必ず付属品をお使いください。漏水する恐れがあります。

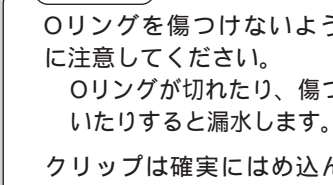


注意7

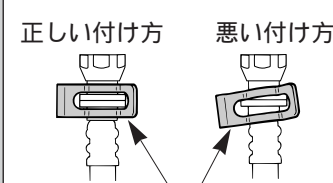
リングを傷つけないように注意してください。リングが切れたり、傷ついたりすると漏水します。クリップは確実にはめ込んでください。きちんとはまっていないと漏水します。



正しい付け方

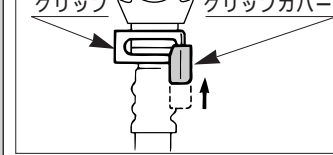


悪い付け方

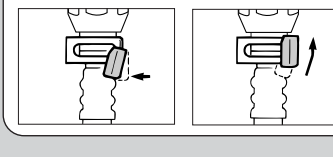


クリップカバーは下記の方法にはめ込んでください。

1 クリップカバーをクリップに引っかけます。



2 クリップカバーの後側を押し上げ気味に差し込みます。



注意 8

Oリングを傷つけないように注意してください。
Oリングが切れたり、傷ついたりすると漏水します。

注意 9

クリップは確実にはめ込んでください。
きちんとはまっていないと漏水します。

注意 10

クリップの先端がカチッと音がするまではめ込んでください。
きちんとはまっていないと漏水します。

注意 11

本体を取付ける時は、必ず付属の部品をお使いください。

参考 1

便器によっては、便座の取外し方が説明と異なる場合があります。

取り外した便座は、引っ越しのことなどを考え、保存しておくことをおすすめします。

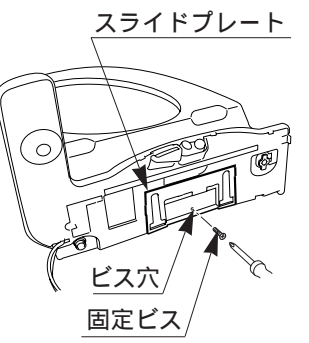
注意 12

本体取付ボルトが長すぎる場合は切欠き部より切断してください。



注意 13

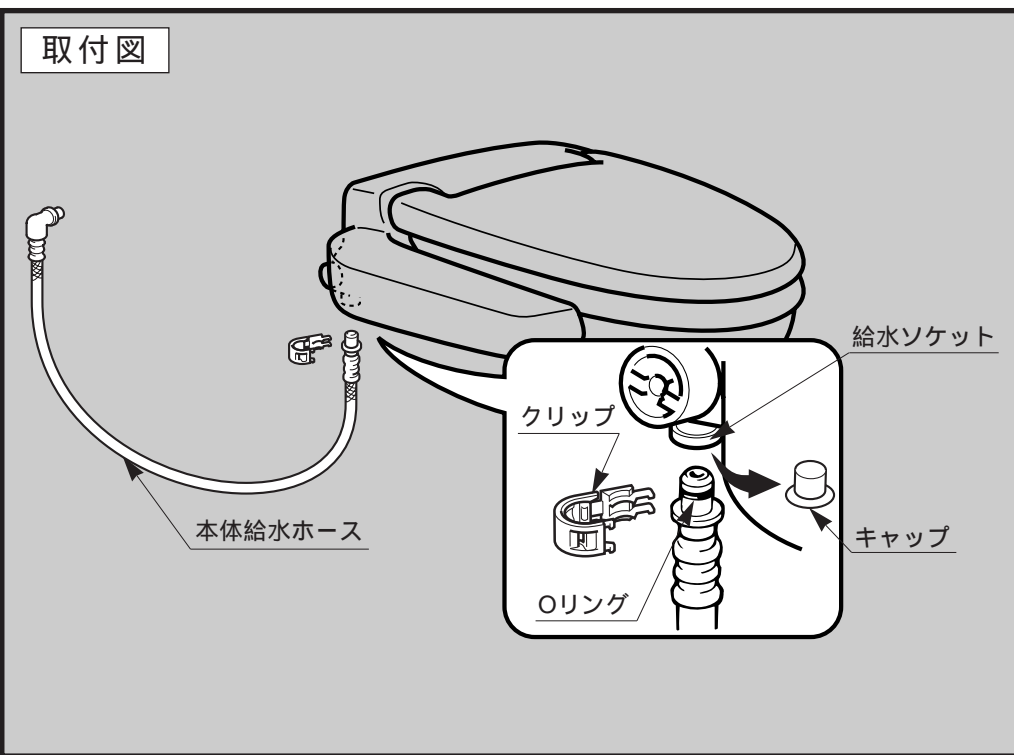
スライド着脱が不要の場合または、便座昇降装置おしりフト(CWA-40)とセットする場合は、説明書セットに同梱の固定ビスをスライドプレートのビス穴に取り付けてご使用ください。



注意 14

新取付ナットの締め付けは片利きのないように左右くりかえし、少しづつ行ってください。
ズレの原因になります。
新取付ナットは、黒いゴム部分が上です。矢印を上に向けて組み付けてください。
手で締めにくい場合は、工具（対辺17mm）で増締めしてください。

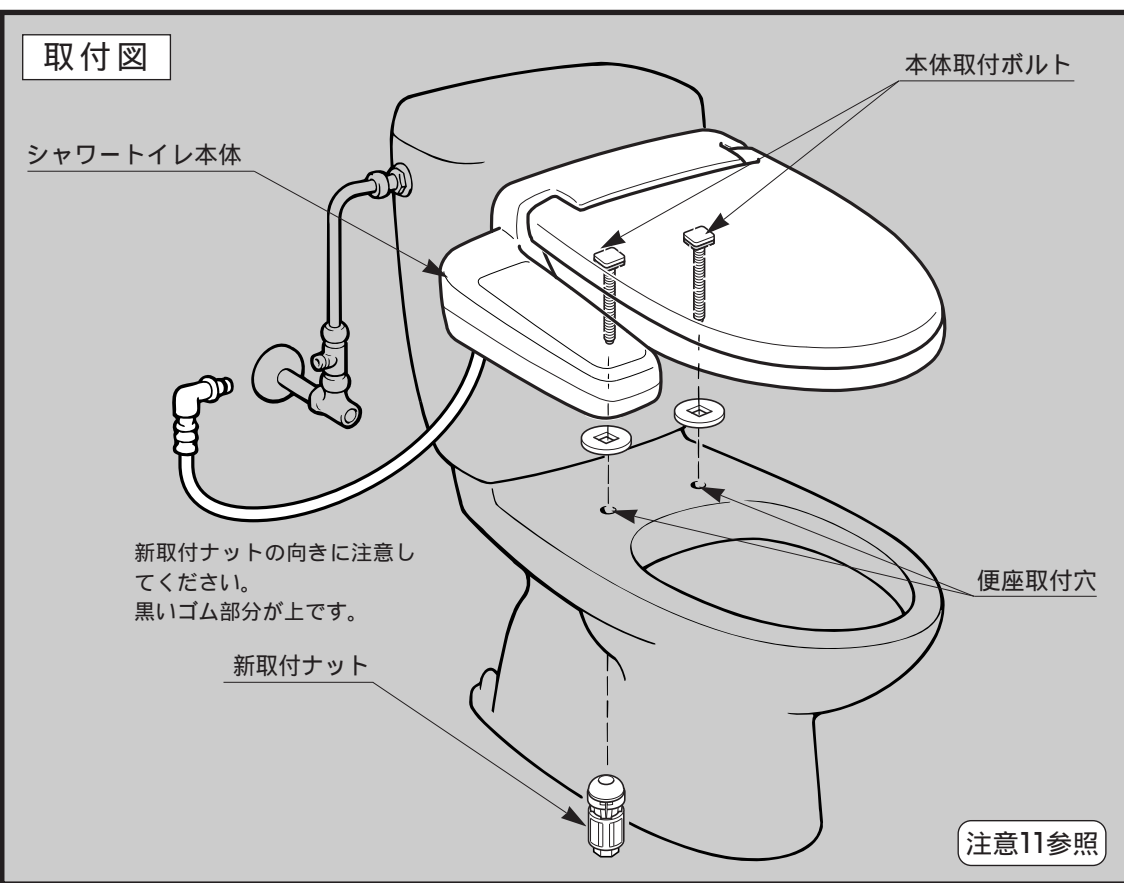
2 本体給水ホースの取付け（本体側）



(1) 給水ホース先端から保護カバーを、給水ソケットからキャップを外します。
(2) 本体給水ホースを給水ソケットに差し込みます。
(3) クリップを本体給水ホースと給水ソケットに差し込みます。クリップに方向性はありません。
(4) クリップを折り曲げ、本体給水ホースと給水ソケットを確実に固定します。取付け後にクリップを回し、確実にはまっていることを確認してください。

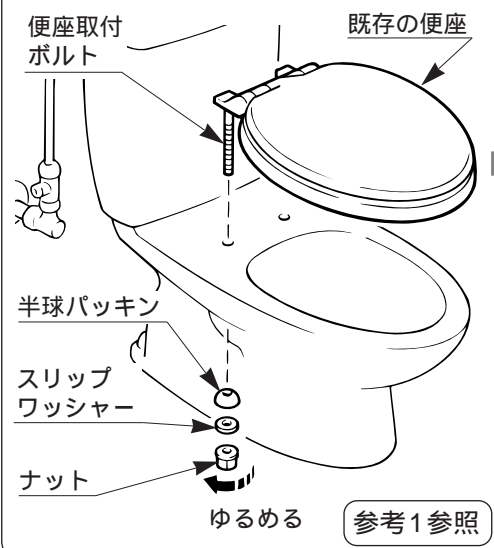
注意8参照 注意9参照 注意10参照

3 シャワートイレ本体の取付け



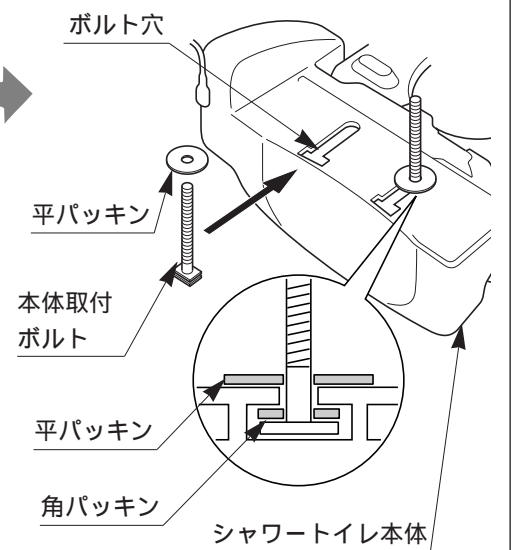
1. 既存の便座を取り外します。

- 便器裏側の便座取付ボルトのナット、スリップワッシャー、半球パッキンを外します。
- 便座を持ち上げて便座取付ボルトごと取り外します。



2. シャワートイレ本体を便器に設置します。

- 本体取付ボルトから新取付ナットを取り外します。
- 本体取付ボルトを本体底部のボルト穴にはめ込みます。この時、角パッキンもボルト穴に確実にめ込みます。 (注意12,13参照)



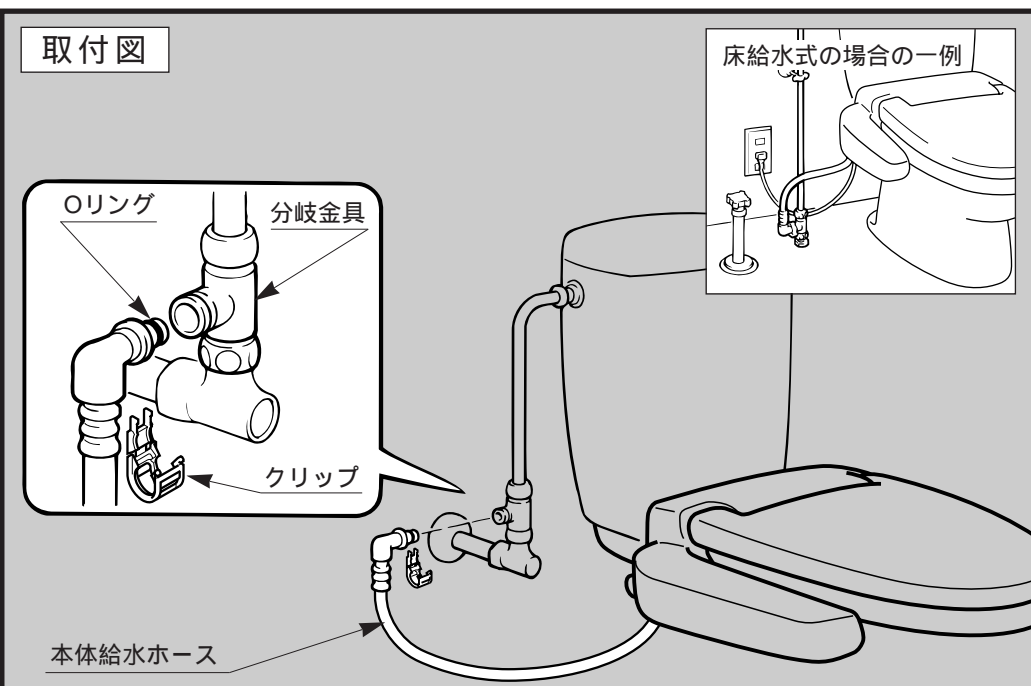
3. シャワートイレ本体を固定します。

- 新取付ナットが開いていることを確認します。もし、開いていない場合は、下図のように引っぱって開きます。
- 新取付ナットを本体取付ボルトに通します。 (注意14参照)
- 新取付ナットを上押し込み、閉じさせます。
- 新取付ナットを手で回して、しっかり締め付けます。
(締付トルク2.0~2.5N・m {20~25kgf・cm})

- 平パッキンが外れた場合は、本体取付ボルトにはめ込みます。
- 便器の便座取付穴に本体取付ボルトを差し込んで本体を設置します。



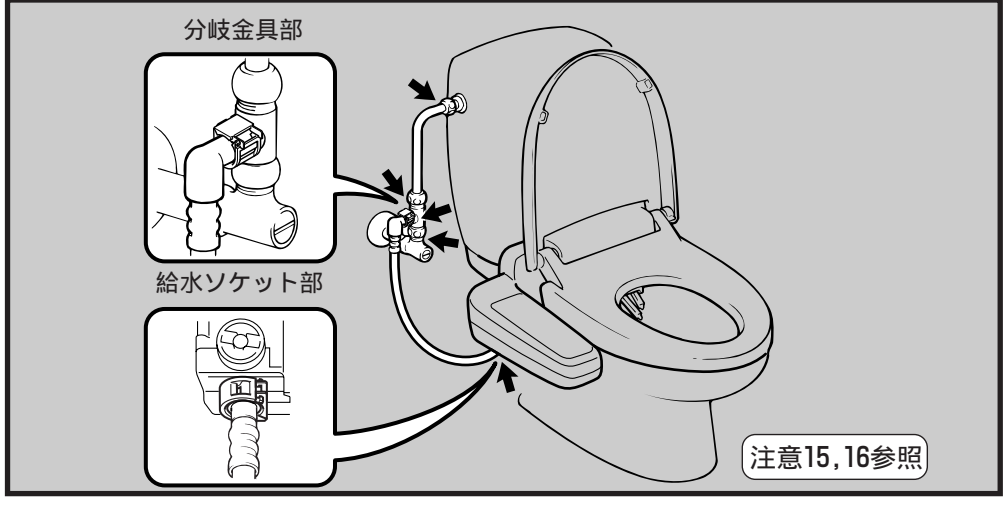
4 本体給水ホースの取付け（分岐金具側）



- 給水ホース先端の保護カバーを外し、本体給水ホースを分岐金具に差し込みます。
- 本体側と同様にクリップを取り付け、クリップを回して確実にはまっていることを確認してください。

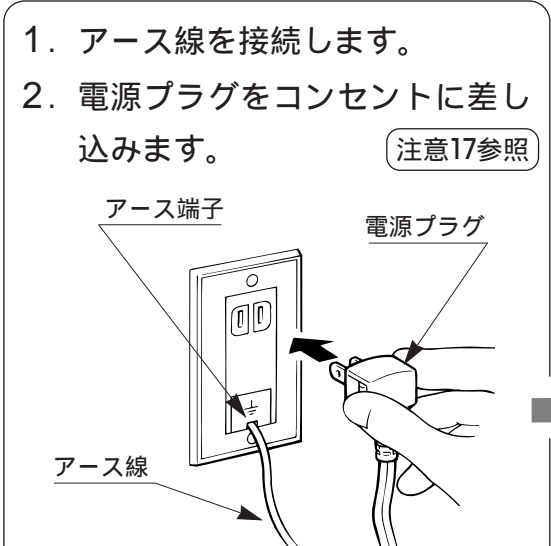
注意8参照 注意9参照 注意10参照

5 通水の確認



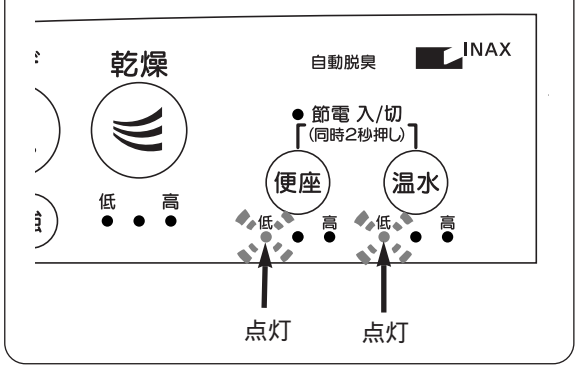
- 止水栓を元の位置まで左に回して開き、タンクおよびシャワートイレに給水します。
分岐金具 止水栓 左に回す
- タンクの洗浄ハンドルを操作して各接続部の漏水がないことを確認します。漏水する場合は、ナット類を締め直さか、再組付けしてください。
- タンクに水がたまり、そのあと確実に水が止まることを確認します。タンクに水がたまらなかつたり、または水が止まらない場合は、ボールタップと浮玉を確認してください。

6 電源の接続



警告
アースを確実に取り付けてください。故障や漏電のときに感電する恐れがあります。コンセントにアース端子がない場合は、電気工事店にご相談ください。

- 電源が入っていることを確認します。
(注意：確認後は速やかに電源プラグをコンセントから抜いてください。)
- 確認後は温水タンクの空だき防止のため、速やかに電源プラグをコンセントから抜いてください。(電源投入後40秒以内を目安にしてください。)



注意 15
タンクへの給水が止まらなくなったり、給水しなくなった場合は、浮玉がタンク内側の壁に当たっていないことを確認してください。浮玉がタンク内側の壁に当たっている場合は、以下の要領で直してください。
(1) タンクのナットをゆるめて、ボールタップを垂直に立てます。

注意 16
止水栓を開けたままストレーナーを外さないでください。ストレーナー部から漏水します。

注意 17
必ず便器への取付けが終了してから電源を入れてください。

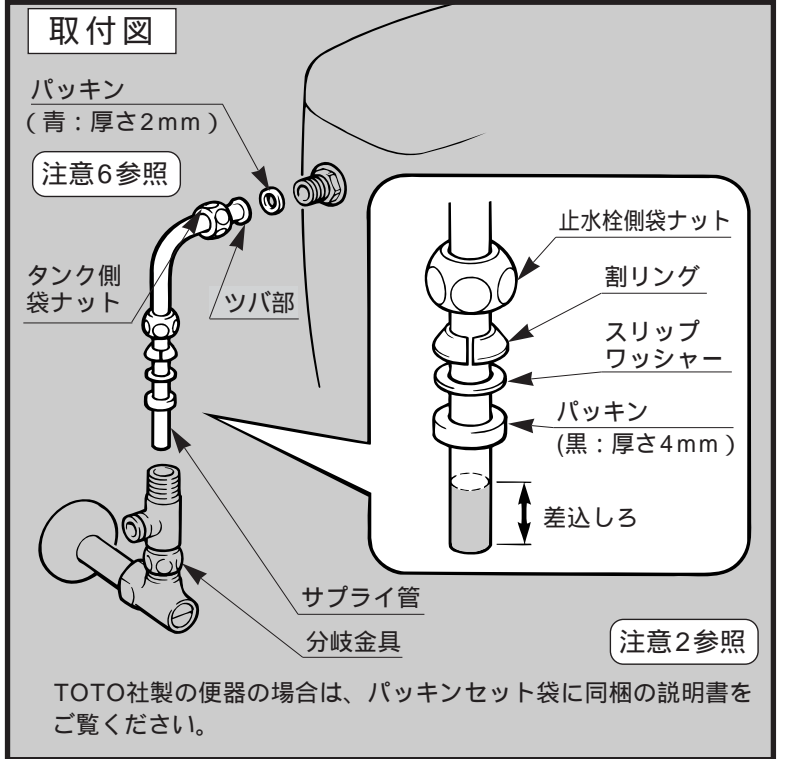
注意 18
サプライ管のツバ部は絶対に切断しないでください。サプライ管の切断は必ずパイプカッターを使用し、切断後は必ず水洗いなどで完全に切り粉を取り除いてから接続してください。止水栓が上下に5mm以上動く場合は、動かないように止水栓を固定してください。漏水の原因になります。固定できない場合はタンク給水ホースをご使用ください。

注意 19
サプライ管の接続は確実に行ってください。袋ナットの締付けが不十分ですと漏水する恐れがあります。

注意 20
ストレーナーを外すときは、必ず止水栓を閉めてください。また、ストレーナーを取り付ける際は、ラインが本体に隠れるまでしっかり締めてください。ストレーナー部から漏水します。

参考 2
脱臭カートリッジは、すでに商品に組み込まれています。

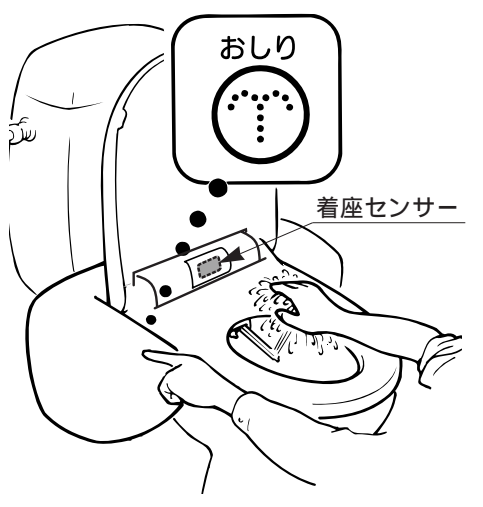
【補足1】 サプライ管を取り付ける場合



- サプライ管を切断します。
(1) サプライ管の端(ツバのない側)を現物合わせで、分岐金具の差込しるとして10~15mm残るように印を付けます。
(2) パイプカッターを使ってサプライ管を切断します。
10~15mm 差込みしるとして残す
- サプライ管を取り付けます。
(1) 切断したサプライ管にタンク側の袋ナット、分岐金具側の袋ナット、割リング、スリップワッシャー、バックン(黒:厚さ4mm)を通して分岐金具に差し込みます。(左記の取付図参照)
(2) ボールタップとサプライ管の間にバックン(青:厚さ2mm)をはさみ、タンク側の袋ナットをはじめに手でいっぱい締め付けてから工具で増締めします。
(3) 分岐金具の袋ナットは、はじめに手でいっぱい締め付けてから工具で増締めします。(締付トルク10~15N・m {100~150kgf・cm})
増締め時、分岐金具の六角部にスパナまたはモンキーを当て、分岐金具を固定しながら袋ナットを締め付けます。
傷つけないで!

試運転 (施工が終わったら、次の要領で試運転を行います。)

- 電源プラグをコンセントに差し込みます。
- おしり洗浄を確認してください。
(1) 着座センサーが紙で覆われていることを確認してください。紙が貼っていない場合は、着座センサーを紙や布で覆ってください。着座センサー窓を覆っていた紙は、確認後、必ず取り去ってください。
(2) おしりスイッチを押します。
(3) ノズルが伸びてきたら先端に手をかざしてシャワーを受け止めてください。
ノズルから水が出るまで1~2分ほどかかります。(洗浄強さを最強にしておくとも早くできます。)
(4) シャワーを止めるときは、止スイッチを押してください。
- ビデ洗浄を確認してください。
おしり洗浄と同じようにビデスイッチを押します。ビデ用ノズルが伸びて、おしり洗浄よりも約25mm前にシャワーが噴出します。



止 おしり洗浄 ビデ洗浄 乾燥の動作が止まります。	乾燥 乾燥付の場合 便座後部より温風が吹き出します。	除菌イオン RJ型の場合 イオンが出て部屋を快適にします。
電源 止スイッチを2秒以上押すことで、シャワートイレ本体の電源を入/切します。	節電 便座と温水のヒーターを切って節電します。	
洗浄強さスイッチ おしり洗浄 ビデ洗浄時の洗浄強さが変わります。	便座 便座が暖かくなります。	温水 シャワーが温かくなります。
脱臭スイッチはありません。自動でファンが作動します。脱臭付の場合		

参考2参照

施工業者様へ 試運転終了後、お客様へお渡するまで保護ビニールシートをシャワートイレにかぶせてください。シャワートイレの傷付き防止になります。

- 水の出方が悪い場合は、ストレーナーを掃除してください。
注意20参照
- 止水栓を右に回して閉めます。
止水栓は調節されているので、元の位置(どのくらい回したか)を覚えておいてください。
 - 本体左側のストレーナーを外します。
このとき、洗面器等を下に置きます。
 - ストレーナーを掃除します。
 - ストレーナーをしっかりと締め付けます。
 - 止水栓を元の位置まで開きます。

- お客さまにお渡するまでに凍結が予想される場合は、水を抜いておいてください。
- 止水栓を右に回して閉め、タンクへの給水を止めます。(寒冷地用水抜きは、室内の水抜き栓を操作します。)
 - タンクの洗浄ハンドルを操作して、タンク内の水を抜きます。
 - 電源プラグをコンセントから抜きます。
 - 温水タンクと本体給水ホースから水を抜きます。
- 本体右側のロックレバーを引いて、手前にスライドさせ、本体を便器から外します。
 - 本体左側のストレーナーを外します。このとき洗面器等を下に置きます。
 - 本体を左側に傾けて、ストレーナー取付穴から本体給水ホース内の水を抜きます。
 - 水抜き後、ストレーナーを確実に取り付けます。
 - 本体底面にある水抜き栓を左(反時計方向)に90度回してゆるめます。
 - 本体を手前に傾け、水抜き栓を引き出して温水タンクから水を完全に抜きます。

